

第6回 高齢運転者交通事故防止対策に関する有識者会議
「高齢運転者交通事故防止対策に関する調査研究」分科会
議事概要（案）

1. 開催日時等

- ・開催日時：令和2年2月28日（金）10:00～12:00
- ・開催場所：警察総合庁舎7階 大会議室
- ・有識者委員
早稲田大学名誉教授 石田敏郎（座長）
大阪大学教授（公益社団法人日本老年精神医学会理事長） 池田学【欠席】
モータージャーナリスト 岩貞るみこ
たじみ岩瀬眼科院長（名古屋大学未来社会創造機構客員教授） 岩瀬愛子
東京大学大学院新領域創成科学研究科教授 鎌田実
武蔵境自動車教習所副管理者 河内勝良
マッキンゼー&カンパニー シニアパートナー 小松原正浩
一般社団法人日本自動車工業会安全部会長 高橋信彦
お多福もの忘れクリニック院長 本間昭
全日本指定自動車教習所協会連合会専務理事 横山雅之
警察庁交通局交通企画課長
警察庁交通局運転免許課長【欠席】
警察庁交通局運転免許課高齢運転者等支援室長
警察庁交通局交通企画課理事官【欠席】
国土交通省自動車局技術政策課長
- ・オブザーバー参加者
内閣府政策統括官（共生社会政策担当）付交通安全対策担当参事官
経済産業省製造産業局自動車課ITS・自動走行推進室長【代理出席】

2. 議事進行

2.1. 開会

※ 事務局より開会を宣言。

2.2. 議事

2.2.1. 事務局からの説明

事務局から、サポカーS ワイドの交通事故抑止効果に関する分析及び最終報告案について説明を行った。

2.2.2. 自由討議

各委員からの主な意見等については、次のとおり。

【サポカーS ワイドの交通事故抑止効果に関する分析について】

- ・ サポカーS ワイドによる事故抑止効果が示されたのは人身事故全体であり、死亡・重傷事故については分析のために十分なデータ量がなかったことを明示した方が良いのではないか。【岩貞委員・小松原委員】

【最終報告書案について】

- ・ 75歳以上の高齢運転者のうち過去3年間に何らかの違反歴があるものが後に死亡・重傷事故を起こす割合が高齢運転者全体の約1.8倍であるというデータは、違反歴がある者の多くが日常的に運転をしていると考えられ、ペーパードライバーを差し引くと、違反歴の有無による事故の起こしやすさの差は縮まるのではないかと。【小松原委員】
- ・ ペーパードライバーのデータの切り分けはできないが、今年度実施したアンケート調査を参照すると、高齢者講習受講者2,035人のうち最近1ヶ月間運転していないと回答したのは2.5%にとどまり、高齢運転者の中でペーパードライバーはそう多くないことがうかがわれる。【警察庁】
- ・ 75歳以上の高齢運転者のうち、認知機能検査を受ける前に死亡事故を起こしている人が一定数いるので、認知機能検査の対象年齢の引き下げについて議論しても良いのではないかと。【鎌田委員】
- ・ 視野検査については、現段階では免許制度の枠組みに含めないにしろ、視野異常の気付きを促すため、運転免許試験場や教習所等に任意で利用できる簡易な視野検査器等を設置すると良いのではないかと。【岩貞委員】

- ・ 不十分なところもある現行の視野検査方法に代わる視野検査方法について、検査及び運用の方法について、継続して検討していくべきであるとする。【岩瀬委員】
- ・ 高齢運転者対策は、運転免許制度を改善すれば万事解決するという性質のものではない。高齢運転者に安全な運転を継続してもらうための施策や、運転をやめた高齢者の移動手手段の確保等、今後も急増していく高齢者にどのように対処していくのかについて、省庁横断的なビジョンを持って取り組んでいく必要がある。【石田座長・鎌田委員】

2.3. 閉会

(以上)